

みんなの広場



7.28

器楽星によるバイオリンのミニコンサート

第23回図書館☆まつり

2っこり笑顔で3んなキラキラ☆

市民図書館で開館23年を祝う図書館☆まつりがありました。今年は大雨の影響で日程を延期し、1日のみの開催。読み語りやミニコンサートをはじめ、俳句まつり表彰式・作品展示、手作り製品の販売など多彩な催しがありました。また、伊萬里まちなか一番館・伊萬里百貨店とのコラボスタンプラリーも行われ、多くの来場者でにぎわいました。



おはなしキャラバンによる☆まつりおはなし会



子どもたちに大人気のバルーンアート



体験de交通安全in図書館も同時開催

豊凜化粧品株式会社が市に寄付

子どもたちのために役立てて

ほつりん 豊凜化粧品株式会社が市に10万円を寄付しました。同社は、8月1日の会社創立記念日に合わせ、売上金の一部を全国各地に還元しており、本市への寄付は今回で8回目。この日は、松尾郁子リーダーなど5人が市役所を訪れ、深浦弘信市長に寄付目録を手渡しました。寄付金は、障害児通所支援施設の設備充実などに役立てられます。



8.1

↑ 深浦市長に寄付目録を手渡す松尾リーダー（右）と豊凜化粧品株式会社の皆さん

伊万里の“いい職”相談会

求めます。優秀な人材

人手不足の中、優秀な人材を確保しようと、市民センターで、15の市内企業などによる伊万里の“いい職”相談会がありました。大卒予定者やU・I・Jターン希望者など約30人が参加。各企業から会社概要などの説明があったあと、個別のブースに分かれての相談会があり、参加者は関心のある企業のブースで熱心に質問をしていました。



8.12

↑ 各ブースで熱心な質問や説明が行われていました

市消防団夏季点検

日頃の訓練なくして地域の安全・安心なし

伊万里消防署で市消防団夏季点検がありました。今年は、4年に1度の小隊訓練競技大会が行われ、11分団が日頃の訓練の成果を披露。一糸乱れぬ団結力を発揮した大川分団が第1回大会から7連覇を達成しました。また、倒壊した家屋や事故車両からの救出訓練も行われ、緊張感漂う中、迅速で確実な動きで要救助者を救出していました。



正確で機敏な動作で観覧者を魅了した大川分団



↑声を掛けあいながら迅速に倒壊家屋の屋根を切断

松永一広さんが大坪保育園にエレクトーンを寄贈

子どもたちに音楽のすばらしさを届けたい

松永一広さん（山代町）が大坪保育園にエレクトーンを寄贈しました。これまで市民図書館などへ絵本などを贈り続け、今年で10年目。その節目を迎える記念にと今回の寄贈を思い立ったそうです。寄贈式で松永さんは、「音楽は心を育てます。くじけない心を持ち、友達との絆を深めていってください」と園児たちに語りかけていました。



↑園児と一緒に除幕を行う松永さん（右から3人目）

ボシ灯ろうまつり

秘窯の里にゆらめく幻想的な光

大川内山でボシ灯ろうまつりがありました。ボシとは、本窯を焚くときに焼物を入れる耐火性の器のことで、これを灯ろうに見立て、ライトアップしようというお祭りです。点灯式では、大人と子どもが入り混じって次々とボシの灯ろうに火を灯しました。暗くなるにつれ、辺りは幻想的な光に包まれ、訪れた人たちを魅了していました。



毎年並べ方が変わるボシ灯ろう。柔らかな光です



↑川沿いの石段にもたくさんの灯ろうが飾られました

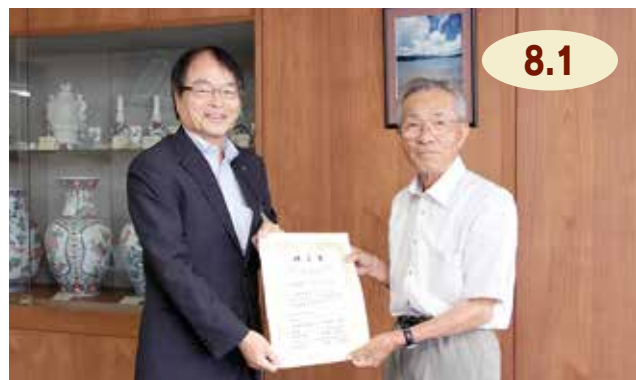


↑子どもたちも着火をお手伝い

大野岳タイワンツバメシジミ保存会が助成金を受贈

希少な蝶を1頭でも多く

大野岳タイワンツバメシジミ保存会が、宝酒造が設立した公益信託『タカラ・ハーモニストファンド』の助成金を受贈したことを深浦弘信市長に報告しました。同ファンドは、各地の自然環境を守る活動などに助成をしており、佐賀県内では今回が初めてです。保存会の松本輝彦会長は、「活動を充実させ、1頭でも多く希少な蝶を飛ばしたい」と話しました。



↑贈呈書を見せ、深浦市長に受贈の報告をした松本会長（右）